

これからの国際共修教育を考える -コロナ禍におけるオンライン授業 実践報告会

北海道大学で2013年から実施してきた、留学生と日本人学生の共修授業「多文化交流科目」も、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、全面オンラインでの授業提供となりました。世界的に人の移動が制限されるなか、海外留学の機会を奪われた、また延期せざるをえなかった学生も少なくありません。必然に迫られての実施とはいえ、多様な背景・言語レベルの学生を対象とした授業設計・運営から得た学びや課題は、今後の国際教育交流を考える上で、なんらかの示唆を提供し得るものになると考えました。本シンポジウムでは、「多文化交流科目」を担当する教員8名の授業実践を報告します。参加者のみなさんとともに、リモートで「共修」・「交流」授業を実践する意義や課題について、共有できればと思います。

2021年2月3日(水) 13:00~15:30 オンライン (Zoom) 開催

参加申込先：<https://forms.gle/gNyLenAU46HBPRs36> 申込用QRコード→

※人数把握のため、参加を希望される方は1月26日(火)までにお申込み下さい。

※申し込みをされた方には、前日までに、参加方法をメールでご連絡します。



◆授業実践報告 (13:00~15:00)

- ・札幌をフィールドワークする (青木麻衣子)
 - ・北海道大学を発見しよう (奥本素子・朴炫貞)
 - ・考え方の技術 (小林由子)
 - ・多文化共生入門ゼミ (式部絢子)
 - ・文化の多様性と私たち (高橋彩)
 - ・海外の学生と日本語で世界の課題を話し合おうーオンライン協働学習 (鄭惠先)
 - ・世界の7000の言語と日本語 (平田未季)
- (各発表は質疑応答含め15分、4人終了後5分+全体終了後10分の休憩をとります)

◆全体質疑応答 (15:00~15:30)

問い合わせ先：北海道大学高等教育推進機構 青木麻衣子 maoki [at] oia.hokudai.ac.jp
※メール送信の際はアドレスの [at] を@に置き換えてください。